

01a ITプロジェクトのテスト設計

1. 研修要領

| | |
|----------|---------------------------------|
| ・募集定員 | 16名 |
| ・研修会場 | 出島交流会館(住所:〒850-0862 長崎市出島町2-11) |
| ・講師 | 麻生教育サービス(AES)講師: 山口 新吾 |
| ・開催月日 | 2023年6月21日(水)・22日(木)・23日(金) |
| ・実施時間・日数 | 9:30 ~ 17:30 (7時間/日)・3日間(21時間) |
| ・受講料(税別) | 78,800円 |
| ・教材料(税別) | 5,000円 |

2. 対象者

ITエンジニアのメンバ、サブリーダー、リーダーの方
前提知識: システム開発に関する基礎知識

3. カリキュラムの概要

本研修では、ソフトウェアテストを効果的に計画、設計、実施できるように、テスト技法だけでなく、テスト計画、テスト品質管理まで幅広く学びます。

- ①テスト計画書に記載すべき内容を理解する。
- ②漏れのないテストを行うために、様々なテスト網羅性の指針について理解する。
- ③様々なテスト技法の特徴と適用方法を習得する。
- ④ケーススタディを通し単体テスト、結合テスト、総合テストのテスト設計書に記述すべきテストケースについて習得する。
- ⑤テスト管理の考え方を理解する

4. カリキュラムの詳細

3日間(21時間)

| | 科目 | 時間 | 科目の内容 |
|-------------------|-------------------------------------|-------|---|
| 6 月 21 日 | 0.オリエンテーション | 0.5hr | <ul style="list-style-type: none"> ●プロローグ ●自己紹介 |
| | 1. ソフトウェア品質の重要性 | 0.5hr | <ul style="list-style-type: none"> ●高まるソフトウェア品質の重要性 ●品質問題の考察 ●ソフトウェア品質を向上させるには |
| | 2. ソフトウェアの品質とテスト 【グループ演習】 | 2.0hr | <ul style="list-style-type: none"> ●品質の2つの側面 ●ソフトウェアの品質尺度 ●ソフトウェア品質を決定づける様々な要因 ●品質管理の基本方針 ◆レビューとテストの特徴 |
| | 3. テストに対する心構え | 1.0hr | <ul style="list-style-type: none"> ●テストの難しさ ●テストの目的 ●良いテストとは ●テスト7原則 |
| | 4. テストライフサイクルと テスト計画 【グループ演習】 | 1.5hr | <ul style="list-style-type: none"> ●テストフェーズ ●品質保証のタイプ ●テストライフサイクル ◆テスト計画の検討項目 |
| | 5. テスト網羅性の指針 | 1.5hr | <ul style="list-style-type: none"> ●ソフトウェア品質特性 ●構造ベース ●仕様ベース ●リスクベース ●エラー推測 |

| | 科目 | 時間 | 科目の内容 |
|-------|--|--------|---|
| 6月22日 | 6. テスト技法 【グループ演習】 【グループ演習】 【グループ演習】 | 5.0hr | ●制御フローテスト ●同値分割、境界値分析 ●デシジョンテーブル ●ドメイン分析テスト ●状態遷移テスト ●ペア構成テスト ●リスクベーステスト ●探索的テスト ◆制御フローテスト ◆同値分割・境界値分析 ◆デシジョンテーブル |
| | 7. テスト設計・準備における留意事項 【グループ演習】 | 2.0hr | ●テスト設計における留意事項 ●テスト準備における留意事項 ◆テスト仕様書評価 |
| 6月23日 | 8. 単体テスト設計 【グループ演習】 | 2.0hr | ●単体テストの目的と内容 ●設計の観点 ●進め方の手順 ◆単体テスト設計 |
| | 9. 結合テスト設計 | 1.0hr | ●結合テストの目的と内容 ●設計の観点 ●進め方の手順 |
| | 10. 総合テスト設計 【グループ演習】 | 2.5hr | ●総合テストの目的と内容 ●設計の観点 ●進め方の手順 ◆総合テスト設計 |
| | 11. テスト管理 【グループ演習】 | 1.5hr | ●ソフトウェア開発とテスト ●テスト密度とバグ密度 ●ゾーン分析 ●信頼度成長曲線 ◆結合テストの品質見解 |
| | 計 | 21.0hr | |

※コース改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

- ①オリジナルテキスト

6. 到達目標

ITプロジェクトにおけるテスト計画、テスト設計、テスト管理についてのスキルを身に着ける

7. 講座レベル

ITSSレベル:2～3